

●消費生活相談事例●



住宅の点検商法にご注意

高齢の父が一人で居る時、事業者が「床下換気扇の点検に来ました」と訪問してきて、「床下がカビ臭い。今取り付けている換気扇は古くてさびているので交換した方がいい。」と強く言われた。父は、その場で換気扇の取り付けと防カビ処理工事の契約をし、工事が終了、現金で30万円支払う約束をした。高額なので、解約したい。(玉野市：女性)

消費者へのアドバイス

最近、「無料で点検する。」と言って家を訪問し、点検の結果「このままでは大変なことになる」などと消費者の不安をあおり、高額な商品やサービスの契約をさせられたという相談が寄せられています。

住宅の場合は、屋根や床下、排水管など、消費者が容易に確認できない部分の判断が難しく、言われるがまま、点検に続けて工事の契約をしてしまうという実態があります。

トラブルにならないために、「無料で点検」と訪問してくる事業者には対応しないようにしましょう。

事業者が役所の関係者を名乗り訪問してきた場合は、その役所へ確認しましょう。

契約を勧められてもその場ですぐに決めず、家族や近所の人など周囲の人にも相談しましょう。

家族や周囲の人も、高齢者の家に不審な訪問者が来ていないか、家の中に見慣れない封筒や契約書がないかなど、日ごろから気を配りましょう。

クーリング・オフが出来る場合もありますので、少しでも不安を感じたら、すぐにお住まいの地域の消費生活相談窓口(消費者ホットライン☎188)に相談してください。

岡山県消費生活センター 086-226-0999

エシカル消費ってなんだろう？
～持続可能な社会のためにできること～

「エシカル消費(倫理的消費)」という言葉を知っていますか？

国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の1つに「つくる責任、つかう責任」があります。エシカル消費とは、持続可能な社会に向けて、「つかう責任」を考え、人や社会、地球環境に配慮した消費行動のことです。商品やサービスを選択するときに、エシカル消費をほんの少し意識してみませんか？あなたの普段のお買い物で地球の未来が変わるかもしれません。

エシカル消費の例

環境に配慮	人や社会に配慮	地域に配慮
<ul style="list-style-type: none"> ・買すぎない、食材を使い切るなど、食品ロス削減の工夫 ・エコ製品の購入 ・省エネへの取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人の支援につながる商品やサービスの購入 ・フェアトレード製品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消 ・被災地支援につながる商品やサービスの購入 ・伝統工芸品

第4回消費生活講座

快適な暮らしを送るための家事の大切さ
～きれいを保つお掃除のポイント～

講師：花王株式会社

11月15日(金) 13:30~15:00
きらめきプラザ4階401会議室

第5回消費生活講座

金融リテラシーについて
あなたも狙われている！特殊詐欺

講師：岡山県金融広報委員会

～クイズで学ぶ撃退法～ 講師：岡山県くらし安全安心課

2月7日(金) 13:30~15:00
きらめきプラザ4階401会議室

受講希望の方は、岡山県消費生活センターに電話、FAX、または電子メールでお申し込みください。

TEL 086-226-1019 FAX 086-227-3715 電子メール syohi@pref.okayama.lg.jp

※定員は100名です。来場には公共交通機関をご利用ください。

センターからの

2019
11・12月号

お便り

岡山県消費生活センター

〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ5階
TEL 086 (226) 1019 (2019.11月発行)

Contents

- 消費生活に関するご相談は
- 消費税率引き上げに便乗した詐欺に注意!
- 身に覚えのない商品が届いたら
- 気をつけて!「キャッシュカード預かる」という電話は詐欺
- インターネットショッピング詐欺・模倣品サイトに注意!
- 消費生活相談事例 住宅の点検商法にご注意
- エシカル消費ってなんだろう? ~持続可能な社会のためにできること~
- 消費生活講座ご案内(第4回・第5回)

消費生活に関するご相談は

●岡山県消費生活センター相談ダイヤル

岡山 …… 086 (226) 0999 火曜日～日曜日 9:00～16:30

津山分室 …… 0868 (23) 1247 月曜日～金曜日 9:00～12:00・13:00～16:30

●消費者ホットライン 局番なし 188 (身近な消費生活相談窓口につながります。「188泣き寝入り」で覚えてください。)

●岡山県消費生活センター FAX:086 (227) 3715

e-mail: syohi@pref.okayama.lg.jp

Twitter アカウントID @SyohiOkayamaken

●消費のアドバイス 山陽新聞 毎月1回掲載

消費税率引き上げに便乗した詐欺に注意!

銀行の業界団体を名乗る男から、「消費税増税の関係で、高齢者に社会保険料の一部が戻ることとなった。通帳とキャッシュカードの番号を教えてください。お宅は4万円戻る」と電話があった。(80歳代 男性)

- 社会的に話題になっている出来事を悪用し、言葉巧みに近づく詐欺手口が見られます。現在、消費税率の引き上げに便乗した手口が発生しています。注意が必要です。
- 金融機関や行政等が、消費税増税を理由に消費者個人に電話をかけてくることはありません。「お金が戻ってくる」等と言われても信用してはいけません。
- 着信番号通知や録音機を活用し、知っている人以外の電話には直接出ないということもトラブルを避ける一つの方法です。
- 不審な電話があったら、すぐに最寄りの警察やお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(警察相談専用電話「#9110」、消費者ホットライン「188」)。



(独立行政法人国民生活センター「見守り新鮮情報 第346号」より)

身に覚えのない商品が届いたら ～「代引き」による金銭被害や海外からの小包にご注意ください～

事例

インターネット通販会社から自分宛に「代引き」で荷物が届いた。不在だったため家族が代金を支払って受け取った。送り主が自分の名前になっており、不審に思ったが開封して中身を確認したところ、注文した覚えのない帽子だった。支払った代金を返金してほしい。

(年齢不明 男性)



- 身に覚えのない商品が突然届いたという相談が多数寄せられています。「代引き」サービスを利用して消費者に商品代金を支払わせるものや、海外から送り主不明の小包が届くといったケースが目立ちます。
- 身に覚えのない商品が届いたら、安易に受取や支払いしないようにしましょう。仮に受け取ってしまっても支払う必要はありません。
- 商品が代引きで届いて、支払ってしまった場合は、早急に販売元・発送元に連絡しましょう。海外から届いた商品の場合は、安易に返送してはいけません。
- 普段から通販を利用した場合は、支払い方法も含め家族に伝えるなど、家族と打ち合わせておきましょう。身に覚えのない商品が届いた場合は、すぐ最寄りの消費生活センター（消費者ホットライン☎188）に相談してください。

インターネットショッピング 詐欺・模倣品サイトに注意!

http://www.abcdefg0123-shop.com

URLが不自然

公式 MOMO-SHOES

全て100%正規品!

商品一覧

利用ガイド

お問合せ



期間限定

人気ブランドシューズ
最新モデルです。

~~22000円~~ → 6800円

在庫 1

購入する

極端な値引き
在庫が1

会社概要

MOMO-SHOP

住所：岡山県岡山市

連絡先：oka@o.com

支払方法 銀行振込

送料 送料無料

商品のお届け 5日確実

銀行振込のみ

日本語が不自然

電話番号がない
住所が途中まで

気をつけて! 「キャッシュカードを預かる」 という電話は詐欺

事例

警察を名乗る男性から、「コンビニで、あなたの銀行口座から50万円引き落とされたのでカードを止めた。すぐ代わりに者を行かせるのでキャッシュカードを預けるように」という電話があった。電話を切らないうちに男性が訪ねてきたのでカードを渡し、暗証番号を聞かれ、教えた。3日後、銀行のサポートセンターから不審な引き出しがあると連絡があり、口座から250万円ほど引き出されていることがわかった。

(80歳代 女性)



- 警察や公的機関、金融機関の職員等が通帳やキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞き出したりすることはありません。このような電話がかかってきたら、すぐに電話を切りましょう。
- もし訪問されても、絶対に通帳やキャッシュカードを渡したり、暗証番号を教えたりしてはいけません。
- 少しでも不安に思ったら、すぐに最寄りの警察やお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください（消費者ホットライン188）。

(独立行政法人国民生活センター「見守り新鮮情報 第313号」より)

- 日本語の字体、文章表現がおかしい。
- 販売価格が大幅に割引されている。
- 事業者の住所の記載がない。住所を調べると田畑、個人宅になっている。
- 事業者への連絡方法が、問い合わせフォームやフリーメールだけである。
- 支払方法が銀行振込のみである。
- 利用規約等におかしな記載・不当な記載がある。
- サイト内のリンクが適切に機能しない。
- サイトURLの表記が、ブランドの正式な英語表記と少しだけ異なるなど、おかしい。
- 個人情報を入力する画面にSSL（情報を暗号化した通信方法）が導入されていない。



ネットショッピングでのトラブルを防ぐための5つのポイント

- 1 インターネットショッピングはクーリング・オフできません。
- 2 信用できるサイトかどうか確かめましょう（連絡先を確認、前払いは注意）。
- 3 買う前にチェックすること。→利用規約などで返品条件の確認、送料など他に必要な費用
- 4 色々なことを考えて判断しましょう（値段、色や大きさ）。
- 5 ひとつだけではなく他のサイトとも比べてみましょう。